



報道発表資料の配付日時 12月1日(火) 16時00分

発表項目 (行事名)	令和元年(2019年)新規就農者実態調査結果の公表について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 調査概要</p> <p>2019年1月1日～12月31日の間における道内の新規就農者の実態を把握するために、道農政部農業経営課が各(総合)振興局を通じ、市町村に照会を行い農協等の協力を得て実施。</p> <p>2 調査結果のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年の新規就農者数は454人(対前年比85.8%) [H28:566人 H29:569人 H30:529人] ○ 就農者の内訳は、新規学卒が151人(33.2%)、Uターンが191人(42.1%)、新規参入が112人(24.7%) ○ 新規就農者の経営形態は①畑作128人(28.2%)、②稲作114人(25.1%)、③酪農81人(17.8%)、④野菜80人(17.6%)の順に多い。 うち、新規参入者は、①野菜46人(41.1%)、②酪農25人(22.3%)、③果樹10人(8.9%)の順に多い。 <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、農村での生活に関心が高まっていることから、援農に来ていただいた方はもとより、幅広い方々に農業・農村に関する魅力を一層発信するなど、新たな関心層の掘り起こしを図り、今後とも多様な人材の育成・確保に取り組んでいく。</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	農政部農業経営課課担い手対策係 (担当者:松村、鳥井) TEL ダイヤルイン 011-204-5385 内線 27-368		

令和元年(2019年)新規就農者実態調査結果の概要

1 調査方法

2019年1月1日から同年12月31日までの間における道内の新規就農者の実態を把握するため、各(総合)振興局が市町村、農業委員会等の協力を得ながら調査したものを道農政部農業経営課が取りまとめた。

【令和2年(2020年)12月1日公表】

2 調査結果概要

(1) 新規就農者数【表1】

- 2019年における道内の新規就農者総数は454人となった。
これまで概ね600人程度で推移していたが、ここ5年は600人を下回っている。

(2) 就農者別の内訳【表1】

- 新規就農者全体のうち新規学卒者が3割強、Uターン就農者が4割強、新規参入者が2割半ばとなっている。
- 24年度に始まった農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)の活用などにより、近年、新規参入者数は110人~120人程度で推移している。

(3) 振興局別の内訳【表2】

- 新規就農者全体では、上川(93人)、空知(92人)、十勝(72人)、オホーツク(45人)が多く、4振興局で全体の7割弱を占める。
- 新規参入者は空知(16人)、上川(16人)、後志(14人)が多くなっている。

【表1】 新規就農者数の推移

(単位:人、割合:%)

年次	新規就農者数				合計
	新規学卒就農者	Uターン就農者	新規参入者	うち農家出身	
H22	302	337	61	4	700
H23	309	290	79	9	678
H24	223	312	91	8	626
H25	230	285	88	14	603
H26	204	283	125	21	612
H27	189	274	126	21	589
H28	181	268	117	27	566
H29	193	251	125	15	569
H30	187	225	117	14	529
R1	151	191	112	13	454
割合	33.2	42.1	24.7	-	100.0

(各年の数値には、過年度の未報告分を含んでいる場合がある。)

《新規就農者の区分》

- ・新規学卒就農者:農家出身者で学校を卒業後直ちに、又は、卒業後に研修を経て就農した者
- ・Uターン就農者:農家出身者で他産業に従事した後、就農した者
- ・新規参入者:自ら農地を取得するなどして、新たに就農した者

【表2】 総合振興局及び振興局別内訳

(単位:人)

区分		空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	合計
		合計	R1	92	22	33	22	14	11	5	93	5	14	45	72	9
	H30	76	34	38	16	27	15	6	81	15	8	81	82	20	30	529
	増減	▲16	▲12	▲5	▲6	▲13	▲4	▲1	▲12	▲10	▲6	▲36	▲10	▲11	▲13	▲75
新規学卒	R1	31	6	9	3	0	1	0	30	2	0	27	32	5	5	151
	H30	24	6	8	1	1	4	1	21	4	5	50	47	8	7	187
	増減	▲7	0	▲1	▲2	▲1	▲3	▲1	▲9	▲2	▲5	▲23	▲15	▲3	▲2	▲36
Uターン	R1	45	10	10	9	3	4	4	47	1	4	16	27	2	9	191
	H30	44	21	11	6	7	6	4	40	10	0	28	27	5	16	225
	増減	▲1	▲11	▲1	▲3	▲4	▲2	0	▲7	▲9	▲4	▲12	0	▲3	▲7	▲34
新規参入	R1	16	6	14	10	11	6	1	16	2	10	2	13	2	3	112
	H30	8	7	19	9	19	5	1	20	1	3	3	8	7	7	117
	増減	▲8	▲1	▲5	▲1	▲8	▲1	0	▲4	▲1	▲7	▲1	▲5	▲4	▲4	▲5

(4) 経営形態別の内訳【表3】【表4】

- 経営形態別には、畑作が全体の3割弱で最も多く、次いで稲作が2割半ばとなっており、この2形態で全体の5割を占める。
- 新規参入者は、初期投資が少なく済むことなどから、特に野菜による就農が近年増加傾向にあり、最も多い就農形態となっている。
一方、稲作や畑作は、農家出身者(新規学卒、Uターン)による就農が主体となっている。

【表3】経営形態別新規就農者数

(上段:人、下段:対合計比%)

区分	経営形態別新規就農者数											不明	合計
	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	軽種馬	その他		
R1	114	128	80	13	8	81	20	2	0	3	5	0	454
	25.1	28.2	17.6	2.9	1.8	17.8	4.4	0.4	0.0	0.7	1.1	0.0	100.0
新規学卒	48	61	11	0	0	26	5	0	0	0	0	0	151
	31.8	40.4	7.3	0.0	0.0	17.2	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Uターン	62	58	23	3	2	30	10	0	1	2	0	0	191
	32.5	30.4	12.1	1.6	1.0	15.7	5.2	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	100.0
新規参入	4	9	46	10	6	25	5	2	0	2	3	0	112
	3.6	8.0	41.1	8.9	5.3	22.3	4.5	1.8	0.0	1.8	2.7	0.0	100.0
H30	117	161	95	11	3	117	18	1	1	1	4	0	529
	22.1	30.4	18.0	2.1	0.6	22.1	3.4	0.2	0.2	0.2	0.7	0.0	100.0

【表4】経営形態別新規参入者数

(上段:人、下段:%)

区分	経営形態別新規参入者数											不明	合計
	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	軽種馬	その他		
累計(S45~R1)	107	242	807	156	128	724	123	27	23	43	96	3	2,479
	4.3	9.8	32.5	6.3	5.2	29.2	5.0	1.1	0.9	1.7	3.9	0.1	100.0
直近5年間(H27~R1)	29	78	314	29	14	106	21	5	1	4	14	0	615
	4.7	12.7	51.1	4.7	2.3	17.2	3.4	0.8	0.2	0.7	2.3	0.0	100.0

- (5) 就農時年齢別の内訳【表5】【表6】
- Uターン就農者は、40歳未満が8割強、30歳未満が5割弱を占めており、若い年齢層が中心となっている。
 - 新規参入者は、40歳未満が5割強で、近年は、30歳未満の割合が減る一方、40代が増加傾向にあり、約3割半ばを占める。

【表5】就農時年齢別のUターン就農者数

区分	34歳以下					不明
	29歳以下	30～34	35～39	40～45	46歳以上	
累計	5,107		575	294	115	27
6,118人	83.5		9.4	4.8	1.9	0.4
近5年	738	464	138	95	41	6
1,018人	72.5	45.6	13.6	9.3	4.0	0.6
R1	129	88	30	17	13	2
191人	67.5	46.1	15.7	8.9	6.8	1.1

※累計はH6～R1の合計(近5年はH27～R1の合計)

【表6】就農時年齢別の新規参入者数

区分	29歳以下					不明
	30代	40代	50代	60歳以上		
累計	546	1,048	545	217	78	51
2,485人	22.0	42.2	21.9	8.7	3.1	2.1
近5年	78	253	191	32	11	32
597人	13.0	42.4	32.0	5.4	1.8	5.4
R1	13	45	40	6	4	4
112人	11.6	40.2	35.7	5.3	3.6	3.6

※累計はS45～R1の合計(近5年はH27～R1の合計)

- (6) 新規参入者の出身地別の内訳【表7】
- 地域別では、道内出身者が全体の5割を占めている。道外からの新規参入者は、関東の出身者が多い。

【表7】新規参入者の出身地別内訳

区分	出身地別											合計
	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	海外	不明	
累計	1,253	81	29	464	120	264	52	21	71	13	117	2,485
	50.4	3.3	1.2	18.7	4.8	10.6	2.1	0.8	2.9	0.5	4.7	100.0
近5年	328	16	6	84	19	38	15	4	16	10	56	592
	55.4	2.7	1.0	14.2	3.2	6.4	2.5	0.7	2.7	1.7	9.5	100.0
R1	56	3	1	17	5	5	3	0	3	4	15	112
	50.0	2.7	0.9	15.2	4.4	4.4	2.7	0.0	2.7	3.6	13.4	100.0

※累計はS45～R1の合計

- (7) 新規参入者の投資額及び経営面積【表8】【表9】
- 新規参入者が就農に要した初期投資額は、500万円以下が2割強と最も多くなっている。
 - 経営形態別には、野菜では500万円以下が最も多く、酪農では1億円以上が最も多くなっている。
 - 経営面積については、野菜で小さく、酪農で大きい傾向にある。

【表8】新規参入者の投資額

	投資額							不明	合計件数	平均投資額(万円)
	500万円以下	500万円～1000万円	1000万円～3000万円	3000万円～5000万円	5000万円～7000万円	7000万円～10000万円	1億円以上			
稲作	2	0	0	0	0	0	0	2	4	8.8
	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		
畑作	3	1	2	0	1	0	0	2	9	19.0
	33.4	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2		
野菜	15	7	17	2	0	0	0	5	46	4.9
	32.6	15.2	37.0	4.3	0.0	0.0	0.0	10.9		
果樹	1	1	1	2	1	1	0	3	10	5.1
	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0		
花き	0	1	1	0	0	0	0	4	6	6.0
	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.6		
酪農	0	0	1	2	3	3	14	2	25	59.0
	0.0	0.0	4.0	8.0	12.0	12.0	56.0	8.0		
肉牛	0	0	1	4	0	0	0	0	5	10.0
	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
養鶏	1	0	0	0	0	0	0	1	2	-
	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0		
軽種馬	0	1	0	0	0	0	0	1	2	5.0
	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		
その他	2	1	0	0	0	0	0	0	3	1.7
	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
合計	24	12	23	10	5	4	14	20	112	
	21.4	10.7	20.5	8.9	4.5	3.6	12.5	17.9		

【表9】新規参入者の経営面積

	経営面積							不明	合計件数	平均経営面積(ha)
	1ha以下	1.1ha～5.0ha	5.1ha～10.0ha	10.1ha～30.0ha	30.1ha～50.0ha	50.1ha～100.0ha	100.1ha以上			
稲作	0	1	1	1	0	0	0	1	4	8.8
	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
畑作	1	0	2	4	1	1	0	0	9	19.0
	11.1	0.0	22.2	44.5	11.1	11.1	0.0	0.0		
野菜	28	16	1	0	0	0	1	0	46	4.9
	60.9	34.8	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0		
果樹	2	5	2	1	0	0	0	0	10	5.1
	20.0	50.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
花き	1	0	5	0	0	0	0	0	6	6.0
	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
酪農	0	2	0	2	6	10	7	3	25	59.0
	0.0	9.0	0.0	9.0	24.0	40.0	28.0	12.0		
肉牛	1	0	0	2	0	0	0	2	5	10.0
	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0		
養鶏	0	0	0	0	0	0	0	2	7	-
	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
軽種馬	0	1	0	1	0	0	0	0	2	5.0
	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1.7
	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		
合計	33	27	11	11	7	11	7	20	112	
	29.5	24.1	9.8	9.8	6.3	9.8	9.8	17.9		

3 その他

(1) (公財)北海道農業公社による就農促進活動状況
ア 就農相談活動【表10】

- (公財)北海道農業公社への令和元年度の相談人数は657人(対前年比99.1%)となっている。近年は約4分の1が女性からの相談割合となっている。

【表10】(公財)北海道農業公社への相談状況

(単位：人)

年度	新規就農相談				農業体験実習相談				無料職業紹介 (H21開始)				計			
	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性
27	245	285	530	103	16	45	61	23	12	8	20	3	273	338	611	129
28	233	282	515	120	29	29	58	25	9	23	32	8	271	334	605	153
29	236	266	502	127	17	38	55	22	10	8	18	3	263	312	575	152
30	266	328	594	164	14	27	41	14	13	15	28	7	293	370	663	185
R1	287	297	584	136	20	53	73	30	1	4	5	1	307	350	657	166

資料：(公財)北海道農業公社調べ

イ ホームページアクセス件数【表11】

- (公財)北海道農業公社の令和元年度のホームページのアクセス件数は、24万4,162件(対前年比128.4%)となっている。

【表11】(公財)北海道農業公社のHPアクセス件数
(単位：件)

年度	アクセス数	年度	アクセス数
H22	171,313	27	112,148
23	125,212	28	127,879
24	151,282	29	148,049
25	132,891	30	190,222
26	172,037	R1	244,162

※HP開設：平成11年

(2) 農業次世代人材投資資金の交付状況【表12】

- 令和元年度の農業次世代人材投資資金は、準備型で170人、経営開始型で567人、合計737人が交付を受けている。
- 交付対象者は非農家出身者の割合が高く、準備型で7割強、経営開始型で8割弱となっている。

【表12】農業次世代人材投資資金の交付状況

(単位：人、%)

年度	学生			準備型 社会人			計		
	非農家 出身	農家 出身	計	非農家 出身	農家 出身	計	非農家 出身	農家 出身	計
H27	12 20.3	47 79.7	59 100.0	124 88.6	16 11.4	140 100.0	136 68.3	63 31.7	199 100.0
28	18 26.9	49 73.1	67 100.0	149 94.3	9 5.7	158 100.0	167 74.2	58 25.8	225 100.0
29	27 36.0	48 64.0	75 100.0	158 97.5	4 2.5	162 100.0	185 78.1	52 21.9	237 100.0
30	29 50.0	29 50.0	58 100.0	127 92.7	10 7.3	137 100.0	156 80.0	39 20.0	195 100.0
R1	24 40.0	36 60.0	60 100.0	101 91.8	9 8.2	110 100.0	125 73.5	45 26.5	170 100.0

年度	経営開始型			合計
	非農家 出身	農家 出身	計	
27 (2016)	262 63.4	151 36.6	413 100.0	612
28	403 66.7	201 33.3	604 100.0	829
29	434 70.3	183 29.7	617 100.0	854
30	449 77.7	129 22.3	578 100.0	773
R1	444 78.3	123 21.7	567 100.0	737

※準備型は(公財)北海道農業公社から、経営開始型は各市町村から交付されている。

問い合わせ先：農政部農業経営課担い手対策係

(内線 27-356, 27-368)